

取扱説明書

ストッパーシリンダ

型番号 BN - 6003B - 32 x 20 st

1. 仕様

- シリンダ内径 : 32 mm
 ストローク : 20 mm
 空気圧配管口 : Rc1/8
 最高使用圧力 : 0.97 MPa
 耐圧力 : 1.47 MPa
 周囲温度 : 常温
 潤滑油 : 無給油使用可
 オプション : 電磁弁付 (三方向電磁弁 7YC31 型)
 (四方向電磁弁 7YC43 型)
 リードスイッチ付
 マイクロスイッチ付
 ストレーナ付

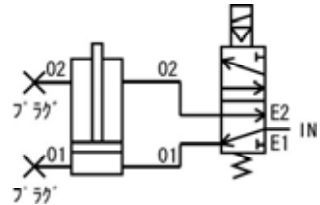


図1 シンボル
(四方向電磁弁付の場合)

2. 構造と作動

本機はコンベアラインにおける搬送物(ワークなど)を積載した、パレットを定位置に停止及び発進させるために設計されたストッパーシリンダです。付属電磁弁の駆動によりピストンロッド(4)が上下動します。

3. 取付・配管

- 3.1 取付姿勢は自由です。パレットはピストンロッド(4)上部に垂直に作られた平面部に接触するようにしてください。この平面部はパレット接触面と平行にし、十分に接触するようにしてください。フレーム(客先設備)に組込み用穴(本機の組込み箇所寸法は 85)を設け、本機をボルトにて確実に固定してください。
- フレームはヘッドカバー(1)の四角つばの下側か、またはロッドカバー(2)の上側かのいずれの位置でも可能です。
- オプション説明 : 配管位置(または操作弁の取付位置)は正面及び側面の2箇所が可能です。但し、一方はプラグにより封止してください。
- 3.2 パレット停止位置は図面を参照して決めてください。
- 3.3 ロッド部は90°ごとに組替えが可能です。
- 3.4 配管の前には配管内を十分にフラッシングして、固形物やシールテープ破片が入らないようにしてください。

- 3.5 オイル、グリスなどの油脂類のない周囲環境でご使用ください。これらの環境下では外部に露出している摺動部（ピストンロッドの表面等）にゴミ付着による不具合発生の原因となりますのでご注意ください。

4. 保守点検

- 4.1 取付後 6 ヶ月に 1 度は機能点検を行ってください。

要点 ストロークの確認
ストッパーとパレットの関係位置
滑らかな作動
エア漏れがない

- 4.2 故障原因の大半は空気中の異物やドレンです。上流側にエアドライヤ、エアフィルタを設置して、これらの原因から発生するトラブルを防止されることをお勧めします。
- 4.3 調整点検時に各部品の関係位置に注意をされて正しく復元できるようにしてください。特にパッキンは丁寧に取扱い、シール方向に注意してください。
- 4.4 部品洗浄時、金属製部品についてはシンナーやトリクレンなどの溶剤を用いられても差し支えはありませんが、金属製以外の部品については鉱物性の軽油で洗浄してください。
- 4.5 回り止め構造となっていますが、ピストンロッド(4)に強い回転を与えないでください。
- 4.6 シリンダを組込まれる前にピストンパッキン(18)の摺動部には下記のグリスを軽く塗布しておいてください。但し外部露出部には塗布しないでください。
推奨グリス：リチウム石けん基グリス(鉱油系グリス)のちょう度(JIS-K2560) 1号又は2号の使用が最も効果的です。
- 4.7 作動中は絶対に可動部に手を触れないでください。指を挟まれることがあり大変危険です。

5. 故障の弁解と対策

- 5.1 ロッドの引込・復帰作動不充分

操作空気圧が低いと思われます。0.2MPa以上としてください。

常用横荷重が大きい場合もあります。停止中の搬送物が本機に加えている荷重が過大の時はこの値を検討してください。

ピストンロッド(4)摺動部にゴミなどの異物がかみこみ、作動不良になることがあります。点検してこれらを取り除いてください。